

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 1 月 10 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2024 年 12 月 23 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校(日本語名) California State University Long Beach(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2024 年 8 月～2024 年 12 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月上旬 2 学期: 1 月下旬～5 月上旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	32700
創立年	1949

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ドル) (1 現地通貨 = 156 円)	B 日本円	備考
授業料	6800	円	
宿舍費	7200	円	食費含む
食費	0	0 円	
図書費	250	円	
学用品費		7800 円	
携帯・インターネット費	160	円	ハナセル
現地交通費	0	0 円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		156,000 円	
旅費(留学中)		156,000 円	
被服費	100	円	
医療費	0	円	
保険費		151,795 円	形態: 明治 50,395 CSULB 100,860
渡航旅費		234,000 円	デルタ航空
ビザ申請費		76,440 円	
雑費	1000	円	外食、生活必需品等
その他		150000 円	ワクチン接種
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	14,410ドル (=2,247,960 円)	855,595 円	
総計(A+B) ※円		3,103,555 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田空港 目的地：ロサンゼルス国際空港 経由地：なし

復路 出発地：ロサンゼルス国際空港 目的地：羽田空港 経由地：なし

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：デルタ航空 料金：136,000

復路 航空会社：デルタ航空 料金：98,000 ∴合計：234,000

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：スカイチケット)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：ヒルサイド) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学のポータルサイトでルームメイトを見つけ、部屋が確定しました。

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮の部屋には必要最低限のものしか備えられていないので、日本から必要なものはなるべく持っていきべきだと思います。私の場合、入居した初日に家具屋に行き、寝具をそろえる事から始める必要がありました。狭い部屋でルームメイトと二人で暮らすため、それなりにストレスを感じる場面もあると思います。そのためルームメイト選びは妥協せずに、自分と気が合いそうな相手を探すべきだと思います。私の場合ルームメイトと共通の趣味があったため、良い関係を気づくことができました。食事に関しては、週に食堂に入れる回数に制限があるため、毎日三食食べることはできませんでした。不足分は自分で用意する必要があります。寮の設備は少し古く、綺麗ではありませんでしたが私の場合すぐに慣れたので大きな問題はないと感じました。ヒルサイドとパークサイドは部屋にエアコンがありません。9月中旬頃までは部屋にいて暑いと感じる瞬間が多かったです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

友人から聞いた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

インターネットの接続に関しては問題なかったです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

支払いはWiseというデビットカードを主に使っていました。また日本で円をドルに換金し、現金も持って行きました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

留学先で就活をする場合は、スーツを持って行くと良いと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

7 月前半に、保証人のクレジットカードで支払いをした。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	☒ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Principle of Sociology	社会学の原理
科目設置学部・研究科	リベラルアーツ
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	現在申請中単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Michael Barnes
授業内容	社会学の基礎について、教授の講義が中心に学ぶ。
試験・課題等	中間、期末テスト。学期間に二度のエッセイ。
感想を自由記入	大講堂での授業でしたが、教授の一方的な講義ではなく、学生に問いを投げかける事が多く、双方向な授業でした。エッセイは、テーマについて自由に記述する形式のもので、細かいルールはなく、さほど労力はかかりませんでした。試験内容も、講義のスライドから出題されることが多く、比較的解きやすい問題が多い印象でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Skills and Methods for Global Leadership		グローバルリーダーシップ	
科目設置学部・研究科	リベラルアーツ		
履修期間	1 学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	現在申請中単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンデマンド(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 分が 2 回		
担当教授	Graham Odell		
授業内容	オンデマンド形式で、統計やグローバル社会での活躍の仕方について学びます。		
試験・課題等	エクセルを用いた、統計課題が学期で 4 回、小テストが 4 回、期末テスト、学期終わりにレポートが課されました。		
感想を自由記入	オンデマンド授業で週に 2 回動画課題が出ます。毎回動画は 20 分程度で、統計についての内容の講義が大半を占めます。私自身、統計学やエクセル操作の知識はありませんでしたが、問題なく単位を取得することができました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
The Nature of Language		言語の性質
科目設置学部・研究科	リベラルアーツ	
履修期間	1 学期間	
単位数	3	
本学での単位認定状況	現在申請中単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Amir Sharifi	
授業内容	言語学の基礎について、ディスカッション、講義を通して学ぶ。	
試験・課題等	学期を通して 10 の小課題、2 回のレポート、中間テスト、期末テスト。	
感想を自由記入	毎授業、初めにグループを作り、5 分間言語についてのテーマをもとに、他の生徒とディスカッションを行います。私はここで自分の意見をはっきり言うことを毎回意識していました。課題については他の授業より少し多く、時間がかかるものが多かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
INTRODUCTION TO LINGUISTICS	言語学入門
科目設置学部・研究科	リベラルアーツ
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	現在申請中単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Barbara LeMaster
授業内容	言語学の基礎を学ぶ
試験・課題等	小テスト 2 回、中間テスト、期末テスト、レポート一回。
感想を自由記入	テストの配点が非常に大きいので、テスト勉強に時間を割きました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)
☒ 就職 ☐ 進学 ☐ 未定 ☐ その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。 ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。 就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	TOEFL 受験
留学開始年	1 月 ～ 3 月	出願、履修希望提出
	4 月 ～ 7 月	ビザ申請、予防接種、滞在先確保、航空券購入
	8 月 ～ 9 月	留学開始
	10 月 ～ 12 月	中間試験、期末試験、帰国
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

様々なバックグラウンドを持つ人と交流したく、カリフォルニアへの留学を決めました。特にロングビーチは人種や文化の多様性が豊かで実際に、多くの人々と交流することができて、人生の中でも最も貴重な経験の一つになりました。留学を終えて非常に実りある 4 か月であったと思う一方振り返ってみると、後悔することはいくつかあります。一つはもっと多くの人と関わればよかったということです。ルームメイトとの関係も良く、寮内で現地の友人ができたため、満足してしまい交友の輪を広げる努力を最小限にとどめてしまっていました。留学経験において、現地で授業を受ける事以上に、人との交流が価値のある事だと思います。そのためこれから留学に出発する方々には、一人でも多くの人と関わるという気持ちで出発していただきたいです。また多くの場面で受け身になってしまったことも後悔しています。様々なイベントなどの情報は自分から探しに行かなければ見つかることはできません。もっと積極的に情報収集などを行うべきでした。私を含め、このような経験をできるのは当たり前ではなく特権です。この恵まれたチャンスを最大限に生かして失敗を恐れず、自分らしさを発揮していくべきだと思います。留学が終わる時には人生の大きな財産になると思います。私も、留学生生活で多くの人々のやさしさに触れ、自分の価値観を変える出来事や人間関係の構築もできました。留学前は手続きや生活のことで不安が多くあると思いますが、ほとんどのことは解決します。安心して、着実にやるべきことを行って、あとは楽しむと良いと思います。辛い経験もあるかもしれませんが、その分強くなって帰国できるので頑張ってください！